

会 議 録

会 議 名 (審議会等名)		令和元年度 第5回 川西市社会教育委員の会	
事 務 局 (担 当 課)		教育推進部 社会教育課 (内線 3422)	
開 催 日 時		令和元年11月15日(金) 10時00分~12 時00分	
開 催 場 所		川西市役所 503会議室	
出 席 者	委 員	野崎議長、住友副議長、田中委員、米田委員、細見委員、玉邑委員 丸山委員 黒山委員 計8名	
	そ の 他		
	事 務 局	大屋敷社会教育課長、田中社会教育課主幹、藤井川西公民館長、社会 教育課山中主事 計4名	
傍聴の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数
傍聴不可・一部 不可の場合は、その理由		0名	
会 議 次 第		1.開 会 2. 前回会議録の承認 3. 報 告 事 項 (1) 各協議会の会議報告について【資料1、2】 (2) 生涯学習短期大学レフネック来年度開講学科依頼状況に ついて【資料3】 (3) そ の 他 4. 議 題 令和元年度年間研究テーマについて 「公民館の役割について ~今、何が求められているのか~」 5. そ の 他	
会議結果		別紙のとおり	

審 議 経 過

NO.1

議長	<p>本日は、お忙しい中ご出席いただきまして、ありがとうございます。ただ今から、令和元年度第5回川西市社会教育委員の会を開会します。はじめに、本日の委員の出欠についてですが、川口委員、塩谷委員が欠席です。また、事務局は部長、副部長が欠席です。それでは、開会にあたり、社会教育課長からご挨拶をお願いしたいと思います。</p>
社会教育課長	(挨拶)
議長	<p>それでは議事に入らせていただきます。次第2 前回会議録の承認につきまして、事務局から報告をお願いします。</p>
事務局	(説明)
議長	<p>説明は終わりました。ただ今のご説明について、何かご質問等はございませんか。特に、ご質問もないようなので、前回の会議録をご承認いただいたものといたします。次に、3の報告事項についてです。(1)各協議会の会議報告について、ご就任いただいております協議会で前回の委員の会から今日までの間に開催された協議会がございましたら、報告をお願いします。</p>
事務局	(説明)
議長	<p>ありがとうございました。今後、阪神北地区社会教育委員協議会第2回研修会が予定されています。みなさまご出席よろしくお願いたします。続きまして、前回10月23日から25日に開催されました全国社会教育研究大会につきまして、ご出席された委員のみなさまより、報告をお願いします。</p>
C委員	<p>本当に良い大会だったと思いました。分科会は阪神地区のスタッフの方を含め、一丸となって取り組めたという印象です。全体会は特に記念講演、シンポジウムがとても良かったです。劇作家の平田オリザ氏については、個人的には存じあげない方だったので、どんな方だろうと思っていましたが、本当にすばらしい経験豊富な方で、お話された内容がとても印象的でした。やはり一つの組織にまとめようとする、個人の、その人らしさがなくなってしまうので、その人らしさというものを求めていくということが大切という部分にとっても共感しました。</p> <p>今後、平田さんが活動される豊岡市がこれからどんなふうに進んでいくのかなと気になります。分科会はどのグループも活発なご意見が出ており、素晴らしいと感じました。</p>
D委員	<p>全国大会には、初めて参加させていただきました。第1分科会は「学校、地域の連携・協働」のテーマで開催されましたが、多田の地域も多田中学校が今年からコミュニティスクールが始まるということで、既に2回、3回会議をしていますが、学校教育、家庭教育、地域と関わるなかで必要な、良い勉強をさ</p>

B委員	<p>せていただいたと思います。今後のそういった方の関わりの中で活かせるように、このテーマに参加させていただいたのかなと思っております。</p> <p>全国大会は初めての参加でしたが、本当に今回は事務局の方々が、がんばって下さったとすごく感じています。ありがとうございました。これほどの大きな大会は初めてでしたが、よく社会教育の講座とか聞きに行かせてもらっても、難しいお話で私の頭では理解しきれず、良いことなのだろうという印象で終わる話が多かったのに対し、今回は学ぶことが多かったと感じました。</p> <p>先程もC委員の報告のなかでも出ましたが、演劇を通して自分を表現する、与えられたものをこなすのではなく、自分で考え、表現するという力を付けていける教育をされているということで、改めて教育について考える機会となった素敵な講演でした。また、多種多様なものが溢れる世の中になり、いろいろな物が入ってきているなかで、昔だったら「普通」という一言で通ったことが、今は通らない世の中になっているということから、1人1人を大切にする教育が大事だと思いました。</p> <p>分科会のほうも本当に良いものだったと思います。自分たちで意見を出し合うワークショップ方式だったので、会話に参加し、意見を交換することで考えを深めることができ、本当に勉強になりました。</p> <p>最後に助言者の先生がお話されたことが、すごく胸に残ったと言うか心に残っていて、DoingとBeingという表現で説明されていましたが、学校現場は教えることが中心になっている状況があると、準備された中で子ども達は先生から教えられたものを学ぶ(=Doing)だけというだけではなく、これからはありのままとか、安定して落ち着ける状態を作ることが大事(=Being)だというお話でした。</p> <p>本当にそうだなと思いました。Beingを作るためにはまず聞くこと。みんながありのままを出せる、それをみんなが受け止められる環境を作るのが大事だと思います。本当に良い大会に参加させてもらったと思っております。ありがとうございました。</p>
A委員	<p>事務局の担当者の方をはじめ、準備が本当に大変だったと思います。こういう会を開催した時の支えになる部分の準備や、最初のとっかかりなど、開催するまでもっていくのに会議を重ね、手間をかけて、いろいろな部署にお話をされていたことを知っているのも、大変だったと思います。僕は敷いてもらったレールに乗っただけの感じがしています。実質2日間ですが、良い会を過ごさせてもらったなと思います。</p> <p>ただ、実は2日前ぐらいまで、全国大会については若干、懐疑的だったわけです。そんな全国から集まって話をしても、いろいろと情報が集まりすぎて、消化しきれないのではないかと、そこでみんなで話してどうするのだろうと、自分の中にどれだけのものが返ってくるのだろうという印象でした。全国大会の雰囲気などが分かっていないなかで、勝手にそう思い込んでいました。</p> <p>その後、全国大会を2日過ごし、最後スタッフのみんな写真撮った時、感動している自分がいました。私は何に感動したのかなと思い、これで終わる</p>

	<p>のか、ちょっと寂しいなというそんな感情を持ったわけです。何でこんな感情になっているのかなと考えますと、大会2日目の平田オリザさんのお話、情報交換会や分科会のグループワークにおいて日本中の社会教育委員の方々から、今の学校との関わり、地域の状況などの話を聞き、ここは川西市と違うな、ここは一緒だな、これからこんな川西市でもできるかなと考える機会となりました。実は分科会のグループワークでは「学校」という2つの文字が出てきたので、たくさんお話をしました。ちょうど僕の向かいに神戸市の元校長先生がいらして、2人で掛け合うような議論になりました。他にも教育委員会の方がおられて、三角形でいろいろとお話し、とても楽しかったですし、得るものも多かったです。</p> <p>また、島根で30年ぐらい社会教育をされている方のお話が聞け、値打ある話だと感じました。そういう話を聞き、共通の場とか共通の空気とか、そういう一緒の場でお話できたことに感動していると気付きました。これは来てよかった、神戸でやってもらって良かったと感じました。非常に貴重な2日間を過ごさせていただきました。思わず、終わりがけに、来年は新潟県でお会いしましょうと何人かの人にそうお声がけをしてしまいました。自分にとって、とても実りのある2日間でした。以上です。</p> <p>ありがとうございます。いま、委員のみなさまからお話があった通りかと思いますが、一言私のほうからもお礼と良かったこととお話したいと思います。何が良かったかということですが、教える、教えられるという関係性のお話があったかと思いますが、そうではなく「学ぶ」とは自分が1歩進むことによって得られるものです。10歩進んだ人も、1歩進んだ人もいると思いますが、その場で立ち止まった人はいなかったと思います。何らかのかたちで運営に参画し、あの分科会ができたと思います。そういった成果があったと思います。</p> <p>社会教育ってそうだね。教える人がいて教えられる人がいて、どうだったではなく、自分が1歩進んでお互いに、学び合ったことが、かたちになったのかなと思います。その分準備が大変ですよ。教えるだけだったら、教える人を呼んで来て人を集めればいいのですが、社会教育はそうではないので、A委員がおっしゃったように準備がすごく大変だったと思います。分科会の運営に対し、みなさんが注いだエネルギーの分、1歩進むということができたと思いますので、自分も社会教育を続けようと改めて思いました。本当に、みなさんありがとうございました。残念ながら、参加が難しかったみなさんは、来年以降も近畿大会、兵庫県の大会もありますので、ぜひ参加いただければと思います。それでは次第のほうに戻ります。委員のみなさまが参加されている協議会等で報告すべきことがありましたら、報告をお願いします。なければ、報告事項(2)生涯学習短期大学レフネック来年度開講学科依頼状況について事務局から説明をお願いします。</p>
<p>議長</p>	<p>(説 明)</p>
<p>事務局</p>	

審 議 経 過

NO.4

議長	<p>では、4 議題です。社会教育委員の会は、次回の第 6 回が最後です。審議報告を作るということですが、議論がしっかりできるのは、今日が最後になるかもしれません。それでは、事務局のから説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(説 明)</p>
議長	<p>事務局から、資料の説明がありました。この後、各自が資料を確認する時間を少し取りたいと思います。</p> <p>(資料確認時間)</p>
議長	<p>それでは再開させていただきます。まずは、提言書作成の意図、現状と課題分析、今後の方向性の 3 つについてお話を進めていこうと思います。まず 1 つ目に、提言書作成の意図です。通常この提言書というのは、誰に対して提言するのかということ、市長、教育長に対する答弁、答申となるわけですが、社会教育員の会に関してはそういったかたちではなく、提案書というかたちになるということをご了承いただきたいと思います。まず、16 ページまでのところで、話を切って進めさせていただきます。2 ページから 16 ページまでの間で、質問もしくは付加的に、記述すべきところは無いか、ご意見をいただければと思います。</p>
B 委員	<p>12 ページの全館独立性の配置ところで、正規職員の館長は 10 館中 1 館しか配置できていない状況であると記載されていますが、9 ページには今年の 5 月現在で正規職員が 5 名と記載されています。正規職員の館長は 1 名だけですか。</p>
事務局	<p>館長の正規職員配置は、川西公民館のみで、それ以外の館長は嘱託職員の方々です。川西公民館以外にも正規職員は配属されていますが、館長ではありません。</p>
議長	<p>他はいかがでしょうか。</p>
I 委員	<p>4 ページに川西市の人口の変化が載っていますが、平成での表記になっています。令和表記に変更すべきではないでしょうか。また西暦での表記の方が多いのではないかと思います、変更してはいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>ご指摘ありがとうございます。実はいま使用している資料は 3 年前のもので、最新版はまだ公開されていません。今後、最新版のものに変えていきたいと思っています。変更する際、西暦表記が併用表記できるかどうか、確認します。</p>
議長	<p>他は、いかがでしょうか。</p>

	<p>それでは、話を先に進めさせていただきます。今後の方向性のところです。14ページに記載の前の提言をふまえ、17ページ以降の文章が記載されています。</p> <p>まず18ページにロビーの活用、雰囲気づくり、公民館講座からのアプローチという3つの柱で提言があるわけですが、これらについて、ご意見があればお願いします。もしくは提言4、5の候補があれば、そちらもご意見をお願いします。</p> <p>他のところはフリーディスカッションというかたちで話を進めさせていただきたいと思います。この提言は必ず実現させるという意味合いではなく、実現できたら良いねというようなお話でいいのではないかと思います。</p>
<p>H委員</p>	<p>将来的に、学校運営に公民館に関わっていただきたいというイメージはありますが、緑台地区の場合はどちらかといえば、自治会館が同じことをしておられます。例えばPTAさんが会議をするのも、学校や自治会館です。自治会館で講座もしています。</p> <p>公民館以外に集まれる場があるので、公民館がリーダーシップをとっているイメージはあまりありません。他の地域はどうなのか分かりませんが、緑台についてはもう少し、公民館がリーダーシップを取れば良いと思います。今は自治会館中心のイメージがあり、具体的な提案の部分も、自治会館、コミュニティが行われているイメージがあります。</p> <p>ただ、公民館には図書室があるので、子ども達も夏休みなどの暑い時に、公民館に行っているようです。できれば、地域の人たちと、市が関わっている所に子どもの居場所があれば良いと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>最初の頃に、川西公民館長に伺ったかと思いますが、市の公民館がコミュニティ施設の統括もしているかを伺い、統括はしていないと聞いた記憶があります。いまのお話は、その部分の話だと思います。自治会館やコミュニティセンターなんか、薄く広くネットワークで見るということができれば良いという話かと思いますが。公民館でも、自治会館でも、似たようなことをやっているというのは絶対あります。館長、どうでしょうか、地域のネットワークをつなぐような動きは、地区公民館にありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>文化祭の時には自治会やコミュニティと、一緒に活動をしている館もあります。文化祭の時だけ入り、一緒にやっているところと、それぞれ同じ日にはやっているけれど、イベントはばらばらにやっている所もあるようです。公民館長がネットワークを結び付けているという感じはないです。どちらかというと、公民館職員がコミュニティを手伝っているところが多いようです。川西公民館は、直接コミュニティと関わっては実施していないので、他の館長からの話を聞いての判断ですが。</p>
<p>G委員</p>	<p>公民館と自治会館の重複についてですが、それぞれの場所ごとにそれぞれの地域性があると思います。川西市の場合は大手の開発業者が大型団地を整備し</p>

	<p>た際に、公民館と自治会館を整備しました。大和団地では、コミュニティ活動が活発化し、独立のコミュニティセンターが立ちました。また、北陵の地域やけやき坂の地域も、公民館の中にコミュニティの拠点ができおり、多くの地域で自治会館、集会所などの様々な施設で、社会教育的な活動が活発的にされています。</p> <p>福祉施設が建った際、一室を地域に開放し、カラオケやマージャンをすることも、それはそれですごく良いと思います。集会所というのは地域運営ですから、業者がそこへ入り、フィットネスやヨガをするというようなこともあります。ただ、それは公民館とは若干違います。そういう多様性のなかで、それぞれが運営されることは、地域の方にとってはとてもメリットがあります。別にそれを公民館が統一する必要はないと思います。公民館はあくまで公的な社会教育施設として、施設を大いに活用し、地域の社会教育の推進に努めれば良いと考えます。それぞれが運営をされるなかで、住民の方が、多少値段が高くて民間のカルチャーセンターに行きたいということであれば、それはそれで良いと思います。ただ、やはり公民館は施設の部屋代が安いですし、民には無いメリットも当然あります。つまり、取捨選択できる環境があるというのがベストだと思います。</p>
議長	<p>ありがとうございます。他にいかがでしょうか。</p>
C委員	<p>先程おっしゃったように、本当に川西市は地域性があります。それぞれ公民館に対するニーズが違います。いろいろな情報発信ができていながら、この講座が受けたいと人が集まり、活性化していくことが大事です。</p> <p>地域によって違うとはいえ、川西市に公民館が10館あるというのは、良い財産だと思うので、これからも無くさない方向で進めていけたらと思います。</p>
議長	<p>ありがとうございます。地域性を大事にする上で、中央分館方式ではなく独立方式でいることが、地域に密着した舵がきれるということですね。</p>
A委員	<p>地域で暮らしていると、自治会館も公民館も一緒に見えます。自治会に所属している方は、自分の都合の良い時に、どちらも利用できます。ただ、いろいろと問題もあり、自治会を抜けていく方も近年増えているなかで、公民館が自治会館の代わりになってくれれば良いと思いますが、果たしてその辺の峻別が、公民館側や自治会館側で、できているのか、あるいは住んでいる人側もできているのか、はっきりしていないところがあります。公民館が10館もあることは強みですが、強みとして認識されていないように思います。これは去年の最後の報告書作成に向けた検討課題の4番にも出ていますが、専門職員や、地域コーディネーターの存在が大切だと思います。地域コーディネーターの方がいれば、自治会館に行くのが良いのか、公民館に行くのが良いのか、自分にとってどれが1番行きやすい場所なのか、分からない人にとって相談することができます。そういう立場の人がもっと必要なのではないかと思います。</p> <p>多分、学校は、社会教育主事や社会教育士の資格を得るための研修制度みた</p>

審 議 経 過

NO.7

	<p>いなものがあるということ、あまり分かっていないと思います。例えば、教育委員会の社会教育担当課も含めた一定の指導主事の人達に、社会教育主事や社会教育士になるための研修をある程度義務付けるように持っていくことや、社会教育主事の資格を持っていたら、教頭試験に有利にはたらくというような背景があれば、みんなが学んでいくシステムができるのではないかと思います。</p> <p>また、校長を退職された後、次にどこで働きたいかという、公民館に行きたいという方も多いわけです。つまり、社会教育主事の資格を持ったコーディネーターを職種とし、給料をもらえる立場にしたうえで、再任用の場の1つにすると、公民館の正規職員の人たちと一緒に、そこで地域の公民館活動を広げるために活躍する人材に繋がると思います。</p> <p>いまの退職校長から館長になった方は、専門職の知識は無いわけです。今後、制度を整え、社会教育の知識をもった人達が増えてくると、公民館長も、地域コーディネーターも全部社会教育の知識を持った人たちでずっと増えていく、そういうような人が増えてくると、住民のニーズや、公民館はこれからどう運営をしていったら良いのか見えてくると思います。</p>
議長	<p>専門性を持った公民館主事のような人を、地区公民館に配置できたらいいということを想定された話ですね。館長、実際に公民館主事的なことを、非常勤の方でされている方はおられるのでしょうか。</p>
事務局	<p>結局、公民館主事は存在していません。社会教育主事の資格は私も含めて、誰も持っていません。公民館の企画をしているのは、正職もしくは嘱託職員です。公民館講座の企画は主事とは言えない、なんちゃって主事が担うことになっています。</p>
議長	<p>その部分を専門職として特化していけないかというご提案ですね。法律的には社会教育法が、図書館司書や学芸員というかたちで、公民館主事と言う資格を作りませんでした。社会教育主事が代用ということですね。社会教育主事は必ず公民館主事であるわけではありません。社会教育主事は、社会教育全体を見る、社会計画策定が仕事です。今、A委員がおっしゃったのは、公民館主事の専門性を持った非常勤の方が、配置できないかというお話でした。その部分は地域コーディネーターとして、コミュニティスクールにも関わってくるところでもあります。コーディネーターと言われる方が、どこで必要か、その養成や対応はどうするのか、特に学校関係では大変なところだと感じています。他にいかがでしょうか。</p>
B委員	<p>私は自治会館と公民館は何かしら繋がっていて欲しいと思います。私は子育て支援の関係で、プレイルームに行っています。私の所属している子ども・若者ステーション以外にも児童主任委員の方がプレイルームをされておられるなど、いろいろなところが同じ公民館で活動していますが、同じ公民館の中にも関わらず、こんな活動されている方もいますよと紹介した時に、知らなかつ</p>

	<p>たという保護者の方々が多くおられ、情報が繋がっていないと感じるのが現状です。そういう横の繋がりといいですか、こんなところもありますという情報をみんなが知り、繋げていけたらいいと思います。あそこの自治会はこんな活動もしているから、もしよかったら行って見たらなどと、紹介できたら、もっとたくさん利用してもらえenと思います。また、自分たちで使う貸館の機能は、自治会館のほうに任せることができれば、もっと公民館の部屋をいろいろな使い方ができenと思います。</p> <p>また、12ページに、講師がなかなか見つからず、市内のなかで同じ講師がずっと回っているという話がありましたが、伊丹市の図書館であることば蔵では、市民の方が集まり、どんな講座をしたいか市民で企画してみるなどの取組を行っておられます。生の声を聞いたうえで講座を実施されているので、人も集まるという結果になっているenと思います。ロビーを活用し、みんなの声を集められるような場を作れたらいいのではないかと思いました。</p>
D委員	<p>公民館と自治会館が話に出ていますが、管理部門が違っているenと思います。公民館は市のもの、自治会館はその自治会で管理するというenことになっています。ですから費用面としても多少格差があるenと思います。十数年前は、自治会に入っている人は無料で使えたので、サークルで使われるときは1人でも自治会に入っておられたら、全て無償で使っていいようになっています。今言われたように、公民館は公民館の登録グループの利用でもう、いっぱいですね。昔は20名とかで活動されていましたが、今は4、5人とかでサークルをされるところも結構あります。公民館を使用できないサークルに、うちの自治会館を使ってもいいよと、できるだけ公民館と地域の連携をし、公民館を有効に使おうとしています。そういったことで、費用は多少高いかもしれませんが、そんなに公民館の使用料と変わらないような設定金額でさせてもらっています。今、おっしゃられたように公民館にしる、自治会のサークルにしる、やはりコーディネーターといいいですか、うまく回してくださる方が今後は必要になってくるのかなと思ました。</p>
議長	<p>他は、いかがでしょうか。学校との関係は、これからの公民館の1つの大切な部分だと思ますが、I委員、ご意見いかがでしょうか。学校と公民館との連携というところですが。</p>
I委員	<p>23ページに記載の今後の方向性の具体的な提案のところ、ボランティアが、ボランティアになっています。修正をお願いします。こういうボランティアを講師とした児童体験とか、宿題とか良いenと思います。また、以前私がお話した意見ですが、25ページに記載されている部活動に代わる夏休み期間の体験ができたら良いenと思います。</p> <p>ただ、今の問題として、公民館の職員の方の配置が少なく、嘱託職員の方と、臨時職員の方だけの配置で企画などを実施することが難しい現状があることを踏まえると、いま言われたようなコーディネーターのような方が1人おられたら、学校と家を繋いでいただくことができるのではないかと思います。</p>

議長	<p>ですから、そういうところに社会教育について勉強された、コーディネーターが1人いるだけで全然違うだろうなと思います。こういう講座、教室をしていただければ、本当に学校としては助かります。</p> <p>ただ、ボランティアも部活の外部指導員も探しますが、まずいいです。かろうじて大学4回生で就職が内定している子に1年間頼むという状況です。夏休みは夏休みで学生もいろいろ忙しいだろうと思うことも含めると、少子高齢化が進むこれからの時代には、退職されてエネルギーがある方が、自分の活躍する場所としていていただく、そういう時代になっていかないと、いけないと思います。</p> <p>小学校はいかがですか。</p>
H委員	<p>私もコミュニティスクールについて、いろいろと考えています。緑台小学校に教頭で来た時の公民館のイメージとしては、高齢者の方が講座を受けているというようなイメージしかなかったです。緑台はどちらかというと地域の自治会の方々の力を借りて、学校運営の中に入ってきてもらっているのが現状です。ただ、今後コミュニティスクールを実施する時には、学校で実施をお願いできる公民館講座を相談する必要があると思います。例えばパソコンをやっておられる講座があれば、その方たちに小学校に入ってきていただいて、プログラミングを教えるなど、小学校に必要な学びの部分で協力をお願いできないか、考えとしてはあります。ただ普段の細かいところは、地域の方に入ってきていただいている状況があります。</p> <p>コミュニティスクールを考えると、公民館とどのように連携していくのかは、難しいですが、子ども達に教える場ができればいいなと思っています。</p> <p>ただ、公民館の作りとしては、入りにくい所ではありますよね。自動扉が開いたら窓口なので。ちょっとそこはお金もかかりますし、簡単にはいけないと思いますが、でも、ここにも書いてあるように、もっと入れるよとか、勉強できるよとかそういう情報を子ども達に言えば、子どもは行くようになるかもしれません。</p> <p>陽明小学校の近くには、子ども達の居場所ができました。昨日、話を聞いたら6月から10月までの間で、だいたい緑台小学校の子が478人、陽明小学校の子が410人、その他大人も入れて1000人以上の方々が、集っているようです。ただ、緑台小学校から行くと遠いです。いわゆる校区を超えないといけないわけです。緑台小学校の下には公民館があるので、そこが子ども達の居場所になればありがたいなと思います。緑台公民館の横にはタコ公園という大きな公園もあるので、子ども達も気軽に出入りできて、ちょっとした高校生とか大学生が勉強を教える会を開いてくれたり、地域の人が自治会館ではなく、公民館を使ってやってくれると言ってくれば、もっと公民館の存在が広がっていくと思います。横の連携で、どこからか情報発信をしていかないといけないと思っています。</p>
議長	<p>ありがとうございます。他いかがでしょうか。</p>

審 議 経 過

NO. 10

A委員	<p>今のお話聞いていると、小学校や中学校の実情を知っている人が、専門職として各公民館に配置されていると、今の緑台小学校の話でも新しいことができるかもしれません。地域コーディネーターの配置と、なおかつ有職者であるというところの、人材確保が早急にあったらすごく良いと思います。</p>
議長	<p>学校教育経験者の方がおられれば心強いですね。</p>
A委員	<p>だいたい、分かりますからね。かつ地域のことも理解しておられたら、地域と結びつけるのは早いかもしれないと思います。</p>
B委員	<p>事業としては、今年で終わるみたいですが、川西市には学校支援地域本部事業というものがあります。10年以上続くものになります。学校支援地域本部事業の地域コーディネーターというのは、地域と学校を繋げる人ということで、地域のボランティアの方を学校に繋げるという、コーディネートの仕事がしたかったのですが、なかなか学校との信頼関係ができずに終わってしまったという結果でした。</p> <p>学校から要望があれば、いろいろな人材と繋がられるのですが、なかなか学校からの要望が来なかったといえますか、利用していただけなかったという状態でした。</p>
G委員	<p>学校と本部の連携の関係ですが、教育関係者の方で、校長を卒業されて公民館長になられている方は、結構多いです。公民館の半数以上の館長は学校関係から来られた方です。私が見るところでは、校長先生が館長になられたから、学校との連携がすごく密になったという現象はあまり見当たらないように思います。反対に校長先生だったので、行政のこともあまりご存じないし、行政センターとしての役割についてはノータッチとふるまわれる弊害もあるわけです。</p> <p>本来校長を辞めて館長になられたなら、もっとリーダーシップを持って学校との繋がりを積極的・意識的にやっていただければ、メリットがあると思いますが、あまりこんなこと言ったら怒られますが、校長先生だった方が館長になられたから連携が強くなったとかいうのは、私は全然感じません。かえって苦情が耳に入ってくる状況です。</p>
I委員	<p>正直に言って、いまの学校現場の勤務状況は、毎日夜遅くまで残業しているという状況です。中学校だと授業が終わったら、そこから部活があって、委員会があって行事の取組があって、教育相談があるという中で地域と連携し、取組をしていくことを受け入れるだけの心の余裕が、正直言って無いのが現実です。</p> <p>子どものために良いことは、当然してあげたいという想いはありますが、学校のことだけで精一杯です。それを改革していかないといけないという状況があります。</p> <p>ただボランティアの登録はあります。学校を応援してくださるということ</p>

審 議 経 過

NO. 11

	<p>で、学校とか地域とか応援したいという方が、集まる場があり、中心になってくださる方もおられ、それぞれの地域で、できることをやってもらうと。その場所に公民館を使っただき、子ども達を行かせることができればいいと思います。宝塚市は学校応援団というのを募集しておられます。どれだけの人が登録されているかは分かりませんが、そういう力に頼っていくことが、必要かなと思います。</p>
A委員	<p>G委員がおっしゃっていたお話ですが、公民館長になった時には既に疲れ切っていて、公民館に行って、ほっとしているといった心情をこぼした館長を知っています。時間があるのなら地域に出て行って、学校と連携したらと言いましたが、分かっているけど、疲れているから1年間は休憩するという心情がある方が館長になっているわけです。</p> <p>ですから、さっき言ったように、そこを補助する人が入り、例えば2人でコンビ組んで館長こんなことしましょうと、地域でなにかできるような、そんな社会になっていったら良いと思いました。</p>
C委員	<p>でも、やる気もって館長になってがんばろうとしても、足を引っ張られるということもあります。いろいろあるようです。ですから、補助する人が欲しいといえますか、お互いに助け合って、職員同士でちゃんとしていけるような、体制をもてるよう、公民館の質を向上してほしいなと思います。</p>
議長	<p>公民館の企画会議の部分ですね。各公民館の運営企画会議はありますか。</p>
事務局	<p>無いです。</p>
議長	<p>そういった住民参加による企画会議というのが今のところ無いわけですね。公民館運営審議会に代わる話し合いの場が、年2回とか3回とか必要です。職員のみなさんにかかっているわけですよ。例えば企画委員会がちゃんとあり、公民館のことをだいたい分かっているキーパーソンがいないことが課題です。館長が代わっても、その館長とうまく持っていけるような人がおられ、その人がコントロールしながらその地区の実態に合わせた協議会をつくり、企画をつくっていくような仕組みがないことが1つの課題ですね。</p>
H委員	<p>少し話はずれますが、館長さん達だけが集まって、意見交流とかする会はありますか。</p>
事務局	<p>月1回、館長会があります。</p>
H委員	<p>意見交換して広がっているのかなと思いました。</p>
事務局	<p>館長会とおっしゃられますが、全館に広がっているかといいますと広まってはいません。それこそ疲れた館長は、講座の企画も全部職員がやっています。</p>

	<p>市民からの声というのは、アンケートは取っていますが、講座に来られた方に他にどんな講座に来たいか聞いても、歴史講座をして欲しいという声ばかり出てくるというのが現状です。</p> <p>一応、ご意見を参考に企画はしますが、講師を探すのが大変です。インターネットで検索するか、誰かが行ってよかったという実体験を参考に探しているので、どこかの館がやって良かったと聞き、じゃあこっちもと、3か所の公民館で同じことやっているというような状況があります。年だけでもずらそうと思っていますが、結局似たようなことになってしまいます。川西公民館ではとりあえず1個ぐらいは、新しい講座をしようと思っていますが、どうしても専門職ではないので、探す方法が無いわけです。人だよりもしくはネットだけよりしか、しょうが無い状況です。</p> <p>先程、校長先生がおっしゃったように、学校の先生が疲れ切っていて、余裕が無いと聞いていますので、今年は子ども達が参加できそうな講座をやろうと考え、2月に小学生の将棋教室を3回やろうと思っています。教室は、将棋協会の方に頼んでみたら、やってあげますよと、安い講師謝礼で請け負っていただけました。もちろん、近所の小学校には案内チラシを配ろうと思っています。本当だったら先生方に、どんなことに子ども達は興味ありますかと確認できればいいのですが、できず、想像でやっています。先ほどパソコンをやっておられる方が、プログラミングを教えてくださいました、という話があったかと思いますが、先生が1人いて、その先生に教えてもらってやっている人たちなので、学校で教えられるかという教えることは難しいと思います。</p>
D委員	<p>多田は、地域の方に講師をお願いします。地域の方の歴史講座は、子ども達も参加してくれます。講師になってくださる方は、結構おられます。定年になるまで培ってこられた専門分野について講師をお願いしています。公民館でも地域住民との交流できるような機会があれば、提案もできますし、講師の先生も意外と身近にいるかもしれません。多田は来年の3月まで毎月講師が決まっています。謝礼は無く、無償です。</p>
事務局	<p>どこで実施されていますか。</p>
D委員	<p>多田東の自治会館です。</p>
事務局	<p>自治会と多田公民館は繋がっていないのですか。</p>
D委員	<p>多田公民館とは繋がっていません。</p>
B委員	<p>連絡取れたら良いですね。さっきも言ったように、学校支援地域本部にもボランティアの方が登録され、こんなんでできるよと言ってくださる方がたくさんいらっしゃるの、全部ができるわけではないですが、みんなで企画を持ち寄って、ロビーで集まって、どれが良いか相談し、みんなですることを決めるというようなことができればいいと思います。ボランティアの方も自分の教えた</p>

審 議 経 過

NO. 13

	<p>いことを、話したいから行くわけなので、費用もかからないでしょうし、どちらもウィンウィンな関係になると思います。もっとしたい人は多くいらっしゃるので、そこを使ってもらったら良いかなと。想像よりもこれをしてほしいとって、聞きたいっていうものをするのが1番かなと思います。</p>
G委員	<p>A委員が夏休みに、子ども向けに理科の講座を実施されたように、優秀な校長OBさんが多数協力いただければ、ありがたいですね。元校長先生やOBの先生方に支援していただいたら、良い方向に行くような感じがしますね。</p>
I委員	<p>今、川西南公民館で月2回学習支援を、元校長やOBの先生達が集まってされているというのは聞いています。</p>
A委員	<p>例えば、市内全体の人材バンクが、ワンクリックで出るようなデータがあり、誰でもどこからでも見ることができ、活用できるようなシステムになれば、もっと活動できると思います。個別に知っている範囲の点が、ばらばらの点であるより、繋がって面になっていると強いです。すぐに使えるし、どこの公民館にも行けるみたいなそういうシステムができれば良いなと思います。</p>
議長	<p>人材のデータバンクは、ずっと言われていることです。ただ、作ったはいいいけどなかなか使われない現状が、過去にもあります。ですから、さきほど委員のみなさんがおっしゃったような、公民館に長期的に関われるような、専門性と継続性をもった方に関わっていただいて、その方に聞けばわかる、窓口となってくださる方がおられれば、望ましいという話です。そういった方を中心に、企画や講座なんかを次の年に導入されていけば、人集めなんかも連鎖して実施できるというお話ですかね。</p>
I委員	<p>中学生にも、将棋やりたいという子がいると思います。将棋部作ってくださいという子がいました。たくさんはいないと思いますが。</p>
事務局	<p>今回は小学生対象ですが、申し込みがあれば、小学生という枠は無くしても良いかなと思っています。</p>
I委員	<p>文化系の部活が吹奏楽と美術部と、よくて家庭科ぐらいしかないの。</p>
C委員	<p>鉄道関係の部活とかもおもしろそうですね。</p>
事務局	<p>高校とかに鉄道研究会ってありましたね。ただ、なぜか公民館の登録グループに鉄道って無いです。</p>
B委員	<p>高校生が講師になっても良いわけですね。伊丹市は学生の子を対象にしたコスプレのイベントがあったりします。隠れたコスプレイヤーの子も、もし、</p>

審 議 経 過

NO. 14

	<p>そういう場があったら、やりたいという子もいるかもしれないですし、そういう声を引き上げることが大事だと思います。</p>
C委員	<p>子ども達に公民館でしたいことに関する意見を聞いて、部屋貸しますみたいなことをしたらおもしろいと思います。</p>
議長	<p>1つの軸として子ども達を取り込むというのが公民館の大切なところではないかと思います。加古川市は、囲碁とか将棋とかで町おこしをするぐらいなので、学校に文化部が無いのであれば、公民館は1つターゲットにできるのではないかと思います。残り時間が厳しくなってきましたが、他のご意見いかがでしょうか。</p>
G委員	<p>10ページの戦後に設置された公民館の役割について記載があるところですが、戦争に向かって走っていった当時の政府を止められなかった反省から、民主主義の育成のため公民館ができたという表現は多少ニュアンスが違ふような気がします。</p>
議長	<p>表記について少し工夫をということでしょうか。</p>
G委員	<p>そうですね。提言の意図についての部分などイラストを記載することで、すごく分かりやすいというか親しみやすくなっていますね。表とかあるのも見やすいです。昔から社会教育委員さんの提言はいろいろあったと思いますが、今回の資料はすごく親しみやすいと思います。</p>
議長	<p>他いかがでしょうか。ありがとうございます。次回、社会教育委員の会にて、本日までの2年間で議論いただいた内容をまとめた資料を提示したいと思います。2月の社会教育委員の会では、その資料をご確認いただき、内容について意見交換をお願いします。最後、事務局より連絡事項があれば、お願いします。</p>
事務局	<p>次回の第5回社会教育委員の会の開催についてです。2月14日（金）午前10時から川西市役所 202会議室にて開催をお願いしたいと思います。どうぞ、よろしくお願いたします。以上です。</p>
議長	<p>それでは、これをもちまして、令和元年度 第5回 川西市社会教育委員の会を閉会いたします。ありがとうございます。</p>